

喪の勉強会では

喪の歴史 から

喪の装いは単なるきものの装いというだけではなく、人の死を悼む厳粛な儀式の中での
こころの表現なのです。

喪の装いとして 最も正式なものが黒喪服。

きものを黒一色で統一し 故人を悼む心、哀悼の情を装いに表して「喪に服す」わけ
です。

それでは 何時ごろから・・・・・・・・

喪のしきたりとマナー

香典の表書きは 一般的には 「御霊前」

仏式では・・・？ 神式では・・・？ キリスト教では・・・？

蓮の花のついているものは？

慶弔の袱紗の包み方は？

家紋とは

家紋の数

どのように家紋ができたのか？

家紋にはいろいろな 思いが込められている

今も伝え継がれている 家紋

留袖・黒紋付き の意味

背紋 → ご先祖様 後ろは見えない 無防備なのでご先祖様が守ってくれる

抱紋(胸)→ 両親 一番お世話になっている

袖紋 → 兄弟(姉妹) と親戚が守ってくれる

五紋の中にその方の血筋が思いがすべて入っているので黒紋付きはお守りにもなるのです

女の子と 男の子との 家紋の与え方の違いとは

その他 黒の違い・ 紋付の着装の実技